

お元気ですか



# 北海道議会議員 笠木かおる通信

道政事務所

旭川市5条通13丁目右2号  
TEL.27-0300 FAX.27-0302

明けましておめでとうございます。  
「かおる通信」92号をお届けいたします。  
今年も感謝して。  
背筋を伸ばしてがんばります。

## 第4回定例会



12月11日に閉会した第4回定例道議会。地元に戻れば、旭川は白雪におおわれ、季節の移ろいを知りました。

自分は第3回定例会に続き、今回も予算特別委員会委員に選任され、12月4日、7日、8日の3日間、連続して質問の機会をいただきました。3日間とも、旭川でのコロナ感染クラスターでの実態を訴え、道の様々な支援を求めました。知事と議会は「車の両輪」。これからも緊張感をもって、「市民目線」を届けて参ります。(質問要旨は裏面に記載)

## 買物公園

毎週土曜日、1条買物公園での土曜街宣。西武A館跡はツルハさんが複合ビルを建設中。B館跡は更地となり、エクスビルは解体工事がはじまりました。昭和47年に誕生した全国初の歩行者天国。個性あふれる買物公園の将来を描きながらマイクを握っています。



## 共生園



総合福祉施設・共生園（東旭川町共栄）。11月1日で満18歳。経験も実績も信用も何もないなかでのスタート。スタッフはじめ利用者・ご家族、地域の方々、様々な関係者に育てられ、成人を迎えました。厳しい福祉環境ですが、地域福祉と生活の向上のため、力をあわせてがんばってまいります。

## 手配り配布

春夏秋冬をサイクルに自分でパソコンを打ち、写真を張り付け、輪転機を回し、自分で配布し始めた「かおる通信」。今でこそ印刷は、印刷屋さんへ配布は多くの方々にお手伝いいただいておりますが、その流れは今も変わっていません。課題は全市的に手配り配布を広めること。活動は常に、一步一步です。



## 「新春の集い」は中止に。

新型コロナウイルスの感染収束が見通せず、東旭川、旭正、千代田、愛宕、豊岡の5つの地区で開いていた「笠木かおる新春の集い」の中止を決めさせていただきました。収束状況をみながら、春の企画ができればと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。(昨年笠木かおる新春の集い)



## 春風万福

■雪国・旭川。凛としたお正月の空気が大好きです。お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

■コロナに始まりコロナに終わった1年。今年も影響を受ける方々の身になって最善を尽くして参ります。その先には必ず、打ち勝つての美酒があると信じて。

■道議会では質問の機会に恵まれた1年でした。「今日という日には、誰もが素人」。そんな思いで臨み続けました。これからも、ずっと、地元愛。岩をも通す一念で郷土のためにがんばります。

■22年の議員生活で、こんなに活動が制限されることははじめて。集いも旅行会もパーク大会も中止に。人との出会いが財産だけに、今年は半沢直樹とともにコロナに「倍返し」の活動をすすめます。

■我が家もお蔭様で平穏無事の毎日。孫4人のうち、二人は自分の背丈を超えました。次女家族は年末、市内の一軒家にお引越し。母は、共生園の皆様にお世話になり今年93歳です。

■さあ、新年。聖なる牛が福を背負ってやってきます。古い皮を脱ぎ捨て、一步前へ進む丑年でありたいと念じています。

■たくさんのご厚情に感謝して、今年も自己修行に励みます。ご一家皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

2021年 丑年元旦



北海道議会議員 笠木かおる

## コロナと闘う。

12月5日、西川将人市長や佐々木隆博衆議院議員と改めて、新型コロナウイルス感染症対策について協議しました。その後ただちに①医療機関等への人的支援②事業者に対する支援強化、などを、しっかりと国や道に反映しました。



特に、医療関係スタッフはいま、自己を犠牲にしてまで、献身的にコロナと闘っています。その身を思いながら、自分も全力を尽くして参ります。

大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。

### 予算特別委員会 質問

第4回定例道議会の予算特別委員会で3日連続、質問の機会をいただきました。その要旨を報告いたします。  
(文責・笠木)



#### ◆クラスター対策について

- (笠木) 医療機関等でのクラスター対策が急務だ。
- (答弁) 感染防護具の配布や院内の患者が交差しない導線の確保、陰圧装置の整備などの支援を行う。

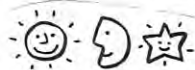
#### ◆人的支援について

- (笠木) 旭川の医療機関等へのさらなる人的支援をできないか。
- (答弁) 医師・保健師による道の感染症広域支援チームを派遣する。国の災害医療対策チームの派遣も要請する。
- (笠木) 保健所への支援も必要だ。
- (答弁) 専門家の派遣など、保健所体制を支援する。



#### ◆自衛隊の派遣要請について

- (笠木) クラスターが発生している病院等への自衛隊派遣要請に関し各部の連携が不十分だ。縦割り行政の弊害が露呈されている。
- (答弁) 自衛隊の派遣要請については、関係部局間でしっかり連携し派遣に向け、すみやかに調整して参る。



#### ◆迅速な検査体制

- (笠木) 疫学調査からPCR検査への移行、陽性となった場合の入所手続きまで時間がかかりすぎている。
- (答弁) 保健所への応援などにより、迅速な実施体制をつくっていく。

#### ◆宿泊療養施設について

- (笠木) 軽症者・無症状者の宿泊療養施設の整備が遅れた。増設に向けた事前準備が必要だ。
- (答弁) 自宅待機者による家庭内感染が発生しないよう努める。

#### ◆意思決定過程の開示

- (笠木) 警戒ステージの運用や時短・休業要請などの意思決定については開示すべき。道民への協力要請の意思決定については、特に公開することが大切だ。
- (答弁) 打合せ記録など公文書の公開については、有識者会議に提供していく。



#### ◆警戒ステージの見直し

- (笠木) 感染の実態と警戒ステージの設定に乖離が生じている。広い北海道では振興局単位にステージを設定し、必要に応じて市町村独自のステージ設定も必要ではないか。警戒ステージを見直す考えは。
- (答弁) 感染動向の傾向等を見極めながら、警戒ステージの改善に取り組んでいく。

### 「議事進行」をかける。

【解説】今回の審議中、他会派の議員が「旭川市の対応は、危機管理といった意味で、機能不全と断言」と発言。直ちに自分は、「一丸となって現場は闘っている。機能不全という発言の取り消しを求めると、議事進行の発言を行い、2時間30分、議事が空転する場面もありました。

また、医療機関等への自衛隊派遣について、道は「旭川市に、再三にわたり自衛隊派遣の要請を検討するよう促してきた」と一度は答弁。自分は事実と異なると指摘。その結果、鈴木知事は「自衛隊派遣について旭川市と協議をすすめてきた」と答弁修正。この答弁準備に、委員会の開会時間が4時間以上遅れることになりました。医療現場のスタッフ、旭川市や保健所の皆さんの努力、それを踏まえての第4回定例道議会予算特別委員会質問に徹しました。

### 泊原発視察

10月26日、会派1期生議員らで泊原子力発電所を視察しました。泊原発でも地震や津波、火災に対する安全対策がすすんでいました。福島原発以降、原発の再稼働は大きな政治課題。難題を抱えながらの視察となりました。



### 松浦武四郎

10月13日、高橋亨道議会議長らと北海道の名づけ親、松浦武四郎記念館(三重県松阪市)を視察しました。

明治の初期、武四郎41歳の時、旭川から富良野を経由して十勝に入っていました。武四郎は北海道アイヌの営みや文化を知り明治政府にアイヌとの共生も嘆願していました。



### 青山雄一さん

10月29日、夢と幸せを乗せたタクシーの2号車が動き出しました。みつばちタクシーのボディに自閉障害を持つ青山雄一さんが2作目を描きました。旭橋やラーメン店、太陽やひまわり。寒さを吹き飛ばす披露会でした。



### 木嶋常二・澤浩子ステージ

10月18日、旭川在住の日本クラウン所属歌手、木嶋常二さんと澤浩子さんのデビュー25周年歌謡ショーで挨拶の機会をいただきました。木嶋さんは私の「後援会応援団長」。私は、木嶋さんと澤さんを「勝手に応援する会会員」です。



10月27日、JR北海道の田畑正信常務と面談しました。自分が働いていたころを思い出す懐かしい会話。北海道の鉄道網の維持に向け、全力を尽くしています。

### ◆笠木かおるプロフィール

- 昭和32年 東旭川で水田農家の次男として生まれる。
- 昭和50年 道立旭川商業高等学校卒業。(サッカー部FWで全道大会活躍) 車が大好きで旭川鉄道管理局入社。
- 平成11年 「約束をしっかり守ること。たとえ小さなことに対しても一生懸命に努力すること」を公約に旭川市議会議員に初当選。(3114票/30位当選)
- 平成15年 旭川市議会議員再選 (5169票/2位当選)
- 平成19年 旭川市議会議員再選 (6433票/2位当選)
- 平成23年 旭川市議会議員再選 (5902票/トップ当選)
- 平成27年 旭川市議会議員再選 (7161票/トップ当選)
- 平成29年 第35代旭川市議会議長
- 平成31年 「北・北海道の力強い中枢核都市を創りたい」との想いで北海道議会議員に初当選(20514票/4位当選)
- 現在
  - ・総合政策委員会委員(理事)
  - ・議会運営委員会委員(理事)
  - ・人口減少問題地方分権改革等調査特別委員会委員(理事)
  - ・北海道地方路線問題調査特別委員会委員(理事)
  - ・民主道民連合1期生議員会会長

